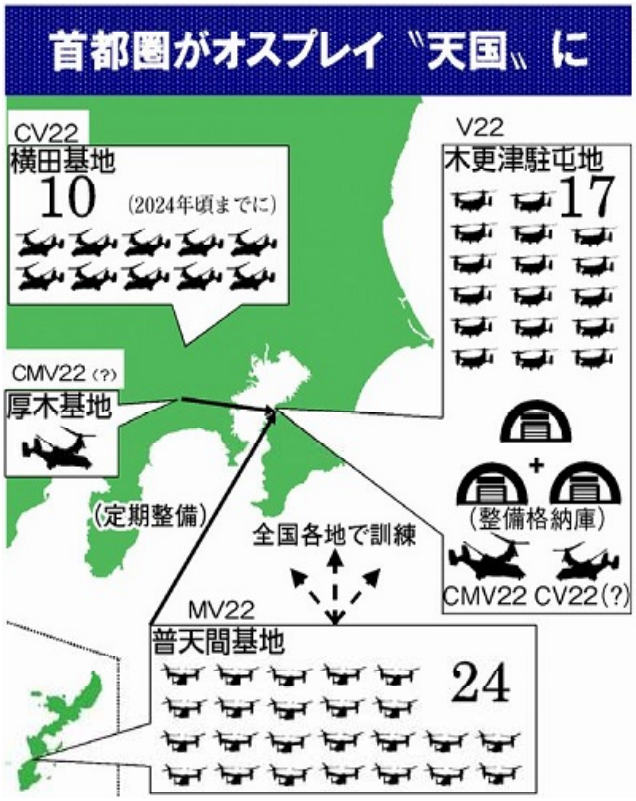
木更津駅前リレートーク
→陸自駐屯地へのデモと申し入れ行動

４月１０日（土）１３時　木更津駅西口集合　１４時３０分　デモ出発

駐屯地申し入れ行動後吾妻公園にて解散

昨年７月１０日、木更津津駐屯地に２機が飛来し、「暫定５年」がスタートしました。　２月２４日に３機目が飛来し、残りも順次「暫定配備」される予定です。



３年後は50機の巨大整備基地に

木更津駐屯地は在日米軍と自衛隊のオスプレイの整備基地でもあります。３年後は 50 機のオスプレイの巨大整備基地になる計画です。木更津市の上空は、危険極まりないオスプレイがひっきりなしに飛び交うことになります。

コロナ禍にあって米中対立は急速に激しさを増しています。南西諸島をめぐって陸自オスプレイの位置はますます高まっています。これは「いつか来た道」、木更津市が「軍都復活」の街になるということを示しています。

風雲急を告げる木更津行動への参加をお願いします。

呼びかけ　動労千葉を支援する会・木更津　都築　090-5401-9503
改憲・戦争阻止！大行進千葉　ＤＣ会館　043 - 202-7820

米軍オスプレイの主な事故（2016年12月以降）

沖縄県普天間基地の海兵隊所属 MV22 オスプレイ

2016年

12月13日　名護市安部の沿岸に墜落

2017年

6月　6日　伊江島補助飛行場に緊急着陸
6月10日　鹿児島県奄美空港に緊急着陸
8月　5日　オーストラリア沖合で墜落。乗員3名死亡。
8月28日　白煙を上げて岩国基地に着陸
8月29日　が大分空港に緊急着陸
9月29日　2機が新石垣空港に緊急着陸

2018年

2月　9日　13 kg部品が伊計島で見つかる
4月25日　鹿児島県奄美空港に緊急着陸
6月　4日　横田基地の米空軍オスプレイ2機が奄美空港に緊急着陸
8月14日　2機が嘉手納基地に緊急着陸
8月14日　奄美空港に緊急着陸
10月25日　奄美空港に緊急着陸

2019年

3月27日　鹿児島県沖永良部空港に緊急着陸
4月　1日　大阪の伊丹空港に緊急着陸

「家が震え、テレビにも電波障害」

前泊博盛　沖縄国際大教授　　２０２０年7月11日東京新聞より

―自衛隊にオスプレイは必要か。

「そもそも自衛隊がオスプレイを配備した理由がよく分からない。防衛省はヘリコプターよりもスピードが速く、航続距離も長いと強調するが、移動はほかの輸送機の方が速い。行動半径も沖縄と九州を飛べる程度で、長距離を飛ぶ場合は空中給油が必要となる」

「空中給油は機体の構造上、非常に難しい。開発に携わった米国人技師は、空中給油機能は危険なので使用すべきではないと警告していた。実際、沖縄県名護市沖で２０１６年、米海兵隊のオスプレイが空中給油機から伸びる給油管と接触して墜落、大破した」

―騒音や低周波の問題も指摘されている。

「沖縄県にある私の自宅上空では宜野湾ぎのわん市の米軍普天間飛行場のオスプレイが夜１０時すぎまで頻繁に飛び回り、そのたびに鉄筋コンクリート建ての家もガタガタと震える。テレビにも電波障害が生じ、録画した番組の肝心なシーンが映っていないことも多々ある」

「機体価格（一機 103 億円）だけではなく整備に必要な部品も高額。米国の圧力で買わされた結果、今後の維持管理費などを含めて 4400 億円の税金が米国に漏れ続けていくことになりかねない」